



砂川市長 善岡 雅文



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、4月の市長選挙において市民の皆様のご支援をいただき、砂川市長として3期目の市政を担うこととなりました。砂川市が進める多くの事業に対する皆様の温かいご支援とご協力に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも引き続きお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、4月1日に平成に代わる新元号が「令和」と発表され、新天皇の即位に伴い、5月1日から新元号へ改元が行われました。また、10月には台風19号が発生し、河川の氾濫などにより関東・東北地方に大きな爪痕を残しました。さらに震度5弱以上の地震が頻発し、一昨年に続き全国各地で広範囲に災害が発生した年でありました。

このような中、砂川市においては、9月に砂川市庁舎建設工事が着工し、大地震にも耐

えうる強じんんで、市民の皆様が快適に利用できる庁舎を目指し、令和3年3月の完成に向けて着々と進めてまいります。防災対策では町内会の自主防災組織に対する支援の強化、指定避難所である北地区コミュニティセンターへの自家発電装置の設置、高齢者にも優しいダンボールベッドなどの備品類の整備を図り、冬場の停電などにも備えた対策を進めたところであります。

新たなまちづくりの指針であります「第7期総合計画」の策定につきましては、市民の皆様から、市民意識調査や審議会、懇談会などでさまざまな意見をお聴かせいただいているところであります。都市基盤・中心市街地のにぎわい・防災などに対する市民ニーズの高まりなどを見据えながら、わかりやすい計画作りに、取り組んでまいります。

本年は、元号が変更となつてから最初の年であり、十二支では一番手の「子年^{ねずみとし}」、しかも日本でオリンピックが開催される記念の年でもあります。この記念すべき年に、3月頃には国の無電柱化事業にあわせた駅前地区のにぎわいを創出する拠点について整備方針や概念を示す基本構想を策定、その後、基本計画へ進む大切な1年となりますが、引き続き市民の皆様のご理解と一層のご支援・ご協力を賜りたいと存じます。

市民の皆様にとって災いが無くご健勝で幸多き年となるよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



新年のご

砂川市議会議長 水島 美喜子



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、「令和」という新たな元号のもと、新春を健やかに迎えられることと議員一同心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対するご厚情とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、4月には、新たな元号「令和」が発表され、全国的な祝賀ムードの中で新年度がスタートいたしました。9月には、新庁舎の建設が始まり、市民の皆様が利用しやすい庁舎の完成が期待されておりま
すし、砂川駅前地区基本構想策定に向けた動きも始まっています。さらには、令和3年度からの10年間の砂川市のまちづくりの方向性を示す「砂川市第7期総合計画」の策定に向けた取り組みも開始されるなど、これからの砂川を形作る大切な1年が始まったという思いを強くしているところでございます。
これからも、本市におきましては、少子高

齢化や人口減少社会、度重なる自然災害など、多くの課題に対応するため、地域の特色を活かした産業の振興、雇用の確保などの地方創生を進めると同時に、防災対策にも力を注ぐなど、着実に施策を展開し、まちににぎわいを取り戻し、市民が安心して、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでまいります。

私も議員一同は、昨年の統一地方選挙において議席を与えていただき、新たな議会活動をスタートさせて以降、市長とともに二元代表制の一翼を担い、行政の諸課題解決に向けて積極的に取り組んでまいりました。この間の市民の皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、私たち市議会といたしましても、この困難な時代における砂川市の将来を見据え、市政運営に奮励してまいる所存でございます。

どうか本年も一層のご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、この1年が皆様にとりまして幸せ多き年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



本年もよろしく

お願い申し上げます

令和2年 元旦

砂川市議会議長一同